

情報公開文書

1. 研究名称

「小細胞肺癌切除症例におけるp40の発現状態の検証」

2. 研究目的

肺癌は近年増加傾向にあり、我が国におけるがん死の第一位となっております。肺癌の診断は、病理専門医が顕微鏡で癌細胞を観察することによって行います。肺癌はその形態によって腺癌、扁平上皮癌、小細胞癌などの組織型に分類され、それにより治療方法や予後が変わってきます。小細胞肺癌は肺癌の組織型の一つで、最も予後不良な癌として知られています。その診断は通常病理組織(HE染色)で行われます。一方、p40抗体を用いた免疫染色は扁平上皮癌のマーカーとして使われていますが、小細胞癌での染色性に関して検討した報告は乏しいです。p40抗体を用いた免疫組織化学の小細胞癌での染色パターンを精査することで、小細胞癌と、扁平上皮癌を代表とするほかの腫瘍の鑑別に有用な情報が得られ、今後の診断に役立てることを今回の研究の目的としています。

3. 研究対象

本研究において対象となる患者さんは、京都大学医学部附属病院呼吸器外科にて2001年から2017年までに肺癌の外科的切除を受けられ、小細胞癌と診断された方と、京都医療センター呼吸器外科で2009年から2017年に癌の外科的切除を受けられ、小細胞癌と診断された方です。患者さんのデータは通常に診療を受けていただく際に記録されるデータであり、また病理データはすでに切除後の組織を用いて検査を行いますので、特別に患者さんに御負担いただいて収集するものはございません。また、過去の診療記録から得られた資料を用いますので、同意書は頂きませんが、患者さんの情報は匿名化され、プライバシーは保護されております。この研究で得られた結果は、専門の学会や学術集会に発表されることがありますが、患者さん個人に関する情報が外部に公表されることは一切ございません。

本研究に対してご質問のある方、また、研究資料の入手、閲覧を希望される方、手術を受けられた方が未成年の場合や意思疎通が十分にできない方の場合で、保護者もしくは身内の方でご質問のある方、もしくはご自身のデータを利用されたくない方は下記の当院病理診断科、データベース管理担当者にいつでもお申し出ください。なお、もし研究協力を拒まれたとしても患者さんに不利益は一切生じませんのでご安心ください。

データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

対応窓口、研究責任者：

吉澤明彦(京都大学)、森吉弘毅(京都医療センター)

研究連絡先：

京都大学医学部附属病院 病理診断科 075-751-3488 akyoshi@kuhp.kyoto-u.ac.jp

京都大学医学部附属病院 相談支援センター 075-751-4748 ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp

国立病院機構京都医療センター 病理診断科 075-641-9161 kmoriyos@kyotolan.hosp.go.jp